

1
創立70周年
記念事業

つなげよう未来へ

11月3日、埼玉大学は創立70周年を迎えました

Vol. **21**
November
2019

海外の協定校からもお祝いのメッセージが届いています!

チュラーロンコーン大学(タイ)

Congratulatory Message from
President Bundhit Eua-arporn, Chulalongkorn University



On behalf of Chulalongkorn University, I would like to extend our heartfelt congratulations to you on the celebration of the 70th Anniversary of Saitama University, Japan.

Chulalongkorn University is honored to be part of this significant occasion when you can look back with pride at your remarkable achievements and your continuing growth.



<https://www.chula.ac.th/en/>

西オレゴン大学(アメリカ)

Congratulatory Message from
President Rex Fuller, Western Oregon University



I would like to extend my warmest congratulations on the 70th anniversary of Saitama University, an institution that has been an important partner for WOU students and faculty for three decades of collaboration.



Western Oregon
UNIVERSITY
www.wou.edu

モナシュ大学(オーストラリア)



Congratulatory Message from
President and Vice Chancellor,
Professor Margaret Gardner, Monash University



Monash University is delighted to extend our sincere congratulations to our partner, Saitama University during its 70th Anniversary



チュラーロンコーン大学：埼玉大学が創立70周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。貴校の70年間の輝かしい業績を振り返るとともに、今後のさらなる発展を願うこの節目を共に祝えることを光栄に思います。

西オレゴン大学：約30年にわたって本学の重要な協定校として交流を続けている埼玉大学の創立70周年を、心よりお祝い申し上げます。

モナシュ大学：埼玉大学の創立70周年を心よりお祝い申し上げます。

下記の大学からもお祝いのメッセージをいただいております

国立交通大学(台湾)、ブランデンブルク工科大学コトブス-ゼンフテンベルク(ドイツ)、世新大学(台湾)、ペオグラード大学(セルビア)、オハイオ・ドミニカン大学(アメリカ)、アーカンソー州立大学ジョーンズボロ校(アメリカ)、エスリンゲン工科大学(ドイツ)、西スイス応用科学大学ジュネーブビジネススクール(スイス)、メキシコ州立自治大学(メキシコ)、ノースカロライナ大学アッシュビル校(アメリカ)、国立台南大学(台湾)、東呉大学(台湾)、開南大学(台湾)、釜山大学校(韓国)、西安交通大学(中国)、シドニー工科大学(オーストラリア)、マラガ大学(スペイン)、アルファラビ カザフ国立大学(カザフスタン)、済南大学(中国) 2019年10月23日現在

インターナショナルレジデンス完成

創立70周年記念の特定重点事業として建設をすすめていたインターナショナルレジデンスが完成し、10月26日(土)に完成披露会を挙行了しました。

本施設は、教職員宿舎をリノベーションしたもので、鉄筋コンクリート造の地上5階建て、延べ面積1,598㎡の建物に単身3人室を28ユニット(計84名が入居可能)配置。1階には多目的交流室とランドリー室があります。

インターナショナルレジデンスの完成により、留学生受け入れが一層充実するだけでなく、宿舎生活での交流を通じた日本人学生の国際化が進み、さらに幅広い視野と課題解決能力を備えたグローバル人材の育成の推進に繋がるものと期待しています。



▲インターナショナルレジデンス外観



▲完成披露会の様子

2 教育 86名が埼玉大学を巣立つ —令和元年度秋季学位授与式を挙行—

9月20日(金)、大学会館において、令和元年度埼玉大学学位授与式を挙行し、社会人学生や17カ国(アフガニスタン、バングラデシュ、ブラジル、カメルーン、中国、フランス、韓国、ラオス、モンゴル、ミャンマー、ネパール、パキスタン、セネガル、スリランカ、イギリス、アメリカ、ベトナム)からの留学生を含む86名(学士22名、修士39名、博士25名)が卒業・修了し、山口宏樹 学長から学位記が授与されました。



▲学士課程卒業生代表挨拶



▲共に学んだ仲間と一緒に

3 教育 66名を埼玉大学大学院に迎えました —令和元年度秋季入学式を挙行—

9月25日(水)、大学会館において、令和元年度秋季大学院入学式を挙行し、新たに66名の学生(博士前期課程28名、博士後期課程38名)を大学院へ迎えました。入学者には18カ国(アフガニスタン、オーストラリア、バングラデシュ、ブラジル、カメルーン、中国、エジプト、ギニアビサウ、インド、モンゴル、ミャンマー、ネパール、パキスタン、スリランカ、タイ、アメリカ、ウズベキスタン、ベトナム)からの留学生が含まれ、埼玉大学らしい多様性に富んだ入学式となりました。

新入生の約9割が留学生のため英語で式辞を述べた山口学長は、「自身の研究分野にとらわれ、自分自身の可能性を狭めてはいけません。多様な学問が一つのキャンパスに共存する埼玉大学の環境を十分に活かし、研究活動に邁進してください」と、新入生へエールを送りました。



▲会場の様子

4 教育 埼玉を代表する企業の経営陣及び自治体・関連団体が直接講義 —埼玉りそな銀行からの寄附講義「地域金融×地域創生入門」で公開授業を開催—

「埼玉りそな銀行の寄附講義『地域金融×地域創生入門』の「業界研究コーナー」において、5月28日(火)を皮切りに、株式会社IHIエアロスペース、株式会社エイチワン、株式会社オリジン、株式会社島忠といった県内を代表する企業の経営陣による講義が行われ、また7月には、一般社団法人埼玉県物産観光協会、東松山市、さいたま市、埼玉県 産業労働部といった自治体・関連団体か

らは「自治体戦略」「東日本連携・創生」「地域連携」をテーマに講義が行われました。

講義の様子(7月9日東松山市)▶



5 教育 ジェフリーさん、懐かしのさいたまに来る!「詩歌から見た日本語表現」特別授業を開催 大学院人文社会科学部 新井高子 准教授

7月18日(木)、教養学部専門科目「詩歌から見た日本語表現」の授業において、西ミシガン大学教授ジェフリー・アングルス氏をゲスト講師に迎え、特別授業「ジェフリーさん、懐かしのさいたまに来る!」と題した講義を行いました。

講義ではまず、ジェフリー教授と日本、さいたまとの関わりについてお話がありました。

その後、なぜ日本文学を専攻したのか、日本語で詩を書くことを選んだのはなぜか、詩と世界はいまどのように結び合うべきなのかについて、『わたしの日付変更線』に掲載された詩歌の朗読をとおりて解説が行われたほか、ご自身

の経験をもとに学生に対して「勇気をだして何事もやってみよう!」というメッセージが贈られました。

言葉の魅力に惹きつけられた本講義。質疑応答では、積極的に質問が寄せられ、学生の関心の高さが窺える特別授業となりました。



▲ジェフリー・アングルス氏(左)・新井准教授(右)

6 研究 ベトナムSATREPSラボ除幕式ならびにNUCE-SUジョイントセミナー2019が 開催されました 大学院理工学研究科 川本健 教授

JST-JICA 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラムのプロジェクト実験室(SATREPSラボ)がベトナム国立建設大学(NUCE)に設置され、その除幕式が9月4日(水)に開催されました。SATREPSラボ除幕式には、山口学長、ベトナム国立建設大学(NUCE)のホア学長はじめ、研究代表者の川本健 教授ら、大勢のプロジェクト関係者や報道関係者が参加しました。除幕式後には、ホア学長が山口学長を招いて、NUCEの発展に多大なる貢献をした方々へ敬意を表して名前が記録、保存される“Golden Book”署名式が行われました。

また、式後、同NUCEで“NUCE-SUジョイントセミナー2019”が開催されました。NUCE-SUジョイントセミナーは次年度以降も継続し、SATREPS活



▲Golden Book署名式(中央:山口学長)

動成果の報告を行うとともに、本学が推進する文理融合・複合科学的見地からの東アジア地域研究をさらに強化する場としても活用していく予定です。

7 研究 デジタル画像の画像品質値を人間の主観と同等の精度で評価・出力する 自動画像品質評価システムを開発 大学院理工学研究科 島村徹也 教授

8月27日(火)、大学院理工学研究科 島村研究室による、デジタル画像の画像品質値を人間の主観と同等の精度で評価・出力する自動画像品質評価システムについてのプレゼンテーションとデモが開催され、当日は、その場で撮影した写真を使用して、一瞬で評価値が判別できるシステムについての早さや正確性についての披露が行われ、その精度の高さを体感しました。

画像品質の評価は、今までは多くの人間が主観的に評価し、その評価結果を統計的に処理して数値化しており、その作業には多くの作業工程が掛かりま

すが、同研究室では、ニューラルネットワークを用いて人間の主観と同等の精度で出力するアルゴリズムを研究開発しています。



▲島村研究室のメンバー(右:島村教授)

8 研究 脊椎動物のからだの繰り返し構造のもととなる「体節」が迅速に形成される仕組みを解明 大学院理工学研究科 川村哲規 准教授

大学院理工学研究科 生命科学系専攻 生体制御学コースの大学院生 伴博之(平成30年度 博士前期課程修了)、横田大佑(平成27年度 博士前期課程修了)と川村哲規 准教授を中心とする研究グループは、大学院理工学研究科 弥益恭 教授、自然科学研究機構 基礎生物学研究所 高田慎治 教授、矢部泰二郎 助教と共同で、脊椎動物のからだに見られる繰り返し構造のもととなる体節が発生過程で迅速に形成される分子メカニズムの一端を、小型熱帯魚ゼ

ブラフィッシュを用いて明らかにしました。この研究成果は、発生生物学分野における重要な研究成果が掲載される英国国際学術専門誌「Development」に8月23日付のオンライン版で掲載されました。

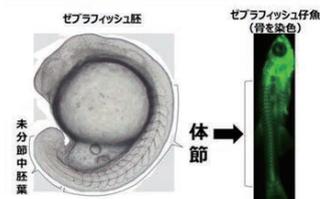


図1. 発生過程で生じた体節の繰り返し構造が、成体のからだの繰り返し構造のもととなる。体節は、脊椎動物の胚発生時に共通にみられる構造。

9 研究 日蘭共同開発の新型超伝導受信機DESHIMAが拓く、電波天文学の新航路 大学院理工学研究科 成瀬雅人 助教

大学院理工学研究科 成瀬雅人 助教の参加する、デルフト工科大学(オランダ)の遠藤光 助教と名古屋大学の田村陽一 准教授、東京大学の河野孝太郎 教授らの国際研究チームは、最先端の超伝導技術を駆使して全く新しい仕組みの電波受信機DESHIMAを開発し、それを国立天文台がチリ共和国で運用するアステ望遠鏡に搭載することにより、天体からの電波観測に成功しました。DESHIMAは、非常に広い周波数帯域の電波を一度に受信しながら、これを分光することができるのが大きな特徴で、従来の電波受信機ではこの両立は大変困難でしたが、今回の試験観測では、遠方にある銀河までの距離を効率よく計測することができることが実証されたほか、オリオン大星雲に含まれる分子の種類と分布を明らかにできる高い能力も確認されました。DESHIMAが実証

に成功した世界初の技術を応用して、さまざまな分野において、新たな研究が花開くことが期待できます。



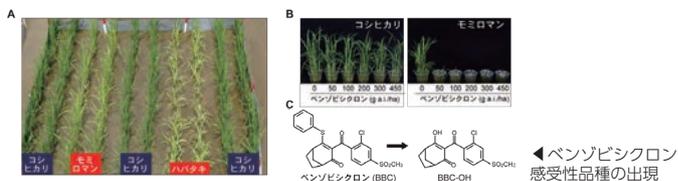
◀アステ望遠鏡に搭載されたDESHIMA(左の円筒形のもの)と開発チーム。後列左から木挽俊彦、大島泰(国立天文台)、唐津謙一(デルフト工科大学)、中央が遠藤光(デルフト工科大学)、その右が竹腰達哉(東京大学/電気通信大学)、前列左からDavid Thoen、Robert Huiting(デルフト工科大学)
Credit: Robert Huiting (オランダ宇宙研究所)

10 研究 日本型イネ由来の新規除草剤抵抗性遺伝子HIS1の発見 —複数の除草剤を不活性化する仕組みを解明— 大学院理工学研究科 戸澤譲 教授

大学院理工学研究科の戸澤譲 教授、農研機構らの共同研究グループは、「コシヒカリ」などの日本型イネが有する除草剤抵抗性遺伝子を発見し、そこにコードされるタンパク質が複数の除草剤を不活性化する仕組みを分子レベルで解明しました。

飼料用イネなど一部の稲品種が、トリケトン系除草剤処理により苗が枯死することが問題になりましたが、本研究グループは、日本型イネからトリケトン系除草剤を不活性化する酵素をコードするHIS1遺伝子を発見しました。この遺伝子が作り出すHIS1タンパク質がトリケトン系除草剤を水酸化し、除草剤としての機能を失わせることにより日本型イネは除草剤で枯れなくなることを

明らかにしました。この研究成果は、世界中に存在する膨大な数のイネ系統の中に、今後の育種に有用な遺伝子資源がまだまだ多く眠っていることも示唆しています。本成果は、7月26日(金)米国科学誌「Science」に公開されています。



11 研究 2019年度(第34回)大同生命地域研究奨励賞を受賞 大学院人文社会科学研究科 遠藤環 准教授

2019年度(第34回)大同生命地域研究奨励賞(業績名「タイなどの都市住民の生活とインフォーマル経済の研究」)を大学院人文社会科学研究科 遠藤環 准教授が受賞しました。同賞は、「地球的規模における地域研究」に貢献した研究者を顕彰するもので、様々な地域の人と文化に対する理解を究極の目的としています。受賞にあたり遠藤准教授は、このような栄誉ある賞を頂くことに

なり、とても励まされる気持ちになると同時に、第34回という地域研究を奨励してきたその歴史の重みを感じ、緊張する気持ちでもありますと語り、関係各所に対する感謝の意を表しました。



▲挨拶する遠藤准教授

12 国際 2019年度サマープログラムを開催 —グローバル社会で活躍できる人材の育成を目指す—

6月10日(月)から7月8日(月)までの4週間、協定校から26名の留学生を迎えてサマープログラムを実施しました。サマープログラムでは、日本の文化、歴史、政治、外交、経済などを対象とした英語による日本研究科目5科目のほか、初級の日本語科目を開講し、成績評価と単位認定を行います。

このサマープログラムでは約70名の日本人学生がボランティアとして留学生の滞在をサポート。英語が通じるか不安を感じていた学生も、フェアウェルレセプションでは笑顔でおしゃべりを楽しみ写真を撮り合う光景が見られました。



▲各国の学生が意見を交換

13 国際 駐日エクアドル共和国大使が 来訪されました

7月2日(火)、駐日エクアドル共和国大使館より、ハイメ・バルベリス大使が来訪されました。

山口学長への表敬訪問では、大使より、エクアドルの文化や歴史、また東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会での同国と埼玉県との連携についてご説明いただき、また、今後の連携の可能性について意見を交わしました。

今回の訪問を機に、エクアドルと本学の教育・研究における交流の発展が期待されます。



▲山口学長とバルベリス大使

14 地域 ひらめき☆ときめきサイエンスプログラムを
開催 一心の豊かさや知的創造性を育む

このプログラムは、小学5・6年生、中学生、高校生を対象に、将来に向けて科学的な好奇心を刺激して“ひらめき”、“ときめき”心の豊かさや知的創造性を育む内容で、最先端の研究成果を直に見る、聞く、触れることで、科学のおもしろさを感じてもらうことを目的に開催されるものです。

本学では以下の3件のプログラムを実施しました。

1. シェフ?医者?探偵?になって、モノが壊れるヒミツを探ってみよう!

7月20日(土) 大学院理工学研究科 荒木稚子 准教授

2. ウニを使った観察実験でく受精>>く免疫>>の理解を深めよう

7月21日(日) 教育学部 日比野拓 准教授

3. 虹色に輝く宝石を作ってみよう2019

7月27日(土) 大学院理工学研究科 長谷川靖洋 准教授

参加した子ども達は、普段は遠く感じる「科学」や「研究」を楽しく身近に感じることができました。



▲プログラムの様子

15 地域 「夏休みものづくり体験教室2019」を
開催 一親子でものづくりの楽しさを体験

8月9日(金)、埼玉大学研究機構 総合技術支援センターでは、さいたま市内の小学生を対象とした「夏休みものづくり体験教室2019」を開催しました。

この教室は、理工学に興味を持ってもらうことや、工作を通じて親子でものづくりの楽しさを体験することを目的に、総合技術支援センターのプロジェクトの一つとして行っているものです。

今年度は、①ゲルマニウムダイオードラジオの製作、②ウォーターパラダイスの製作、③ミニヨーヨーの製作の3つのテーマを企画し、それぞれ午前と午後の部に分かれ、総勢60名に参加いただきました。



▲ウォーターパラダイスの製作



▲フライス盤を使用したミニヨーヨーの製作

16 学生 第17回学生フォーミュラ日本大会2019に
本学学生サークル FPSUが出場!

8月27日(火)～31日(土)第17回学生フォーミュラ日本大会2019がエコパ(静岡県小笠山総合運動公園)で開催され、本学学生サークル「Formula Project SU-spirited (FPSU)」が3年連続出場し、総合順位12位ならびに特別表彰として日本自動車工業会会長賞を受賞しました。

本大会は、フォーミュラスタイルの小型レーシングカーを学生がチームを組んで企画・設計・製作したものを持ち寄り、車の走行性能だけでなく車両コンセプト・設計・コスト審査などもづくりの総合力を競うとともに、自動車技術ならびに産業の発展振興に資する人材を育成することを目的としています。本大会には国内外から90チームが出場しました。



▲大会を終えてチーム全員での記念撮影 エコパにて

17 男女共同参画 SU ダイバーシティ ランチミーティング「『困難を抱える学生』をどう理解し、どのように関わるか」を開催

7月4日(木)、男女共同参画室では「『困難を抱える学生』をどう理解し、どのように関わるか」と題した、第2回ランチミーティングを開催しました。

今回のミーティングは、臨床心理士の山下親子先生をゲストスピーカーに迎え、学内様々な部署の教職員27名が参加。冒頭では参加者が抱えている問題を共有し、「合理的配慮として大学がすべきこと」「大学の専門的な相談体制」をはじめとした問いが出されました。

山下先生からは、青年期ひきこもりに関する調査結果や、困難を抱える学生に対応する際の留意点等について具体的なアイデアが共有され、参加者は熱心に聞き入っていました。



▲ランチミーティングの様子

埼玉大学基金室より 埼玉大学古本募金きしゃぼんのご案内

いつも埼玉大学基金へのご理解とあたたかいご支援をいただき、ありがとうございます。今回は、埼玉大学古本募金のご紹介をさせていただきます。埼玉大学古本募金は、読み終えた書籍や DVD 等を「古本募金 きしゃぼん」(運営：嵯峨野株式会社)にお送りいただくことで、その査定額を埼玉大学基金にご寄附いただく制度です。5冊(5点)以上であれば送料は無料です。詳細は下記ホームページをご覧くださいませようお願いします。今後とも埼玉大学基金へのご理解とご支援をいただけますよう、心よりお願い申し上げます。

埼玉大学 古本募金の流れ

梱包・申込 → 査定・換金 → 寄付

申込書
申込みから送料無料
宅配業者が伝票をもって引き取りに伺います。

古本募金 きしゃぼん
きしゃぼんから1件につき100円が寄付されます。

寄付
査定額は「埼玉大学」の活動に役立てられます。

募金になるもの

本 DVD CD ゲーム
切手 はがき 貴金属 ブランド品

ISBN978-4-123-45678-9
書籍は ISBNコードがあるかご確認ください。
※裏表紙、裏付等にあります。

(WEB受付) 24時間・365日



埼玉大学 古本募金



www.kishapon.com/saitama-u/



(電話受付) 9時～18時



0120-29-7000

「埼玉大学への寄付」とお伝えください

◆埼玉大学基金のご報告

令和元年9月末の状況 **475,376,314円**

うち古本募金「きしゃぼん」によるご寄附 **782,920円**

埼玉大学基金室(広報渉外室内) ☎048(858)9330 ✉s-kikin@gr.saitama-u.ac.jp 🌐http://www.saitama-u.ac.jp/funds/
古本募金「きしゃぼん」についてはホームページの「お申し込み方法」(http://www.saitama-u.ac.jp/funds/pay/)の「3.古本募金」からもご覧いただけます。

